

市内外の小学生ら
水路で生き物調査

【那須塩原】農村環境の
保全などに取り組む「三区

町環境保全隊」(佐々木賢代表)は17日、那須開墾社烏ヶ森農場歴史公園周辺の水路などで生き物調査を行った。市内外の小学生ら約60人が参加し、泥だらけになりながら水生生物や昆虫約35種を採集した。写真。

調査は児童の自然環境や生息する生き物への興味関心を高め、地域の人々との交流も深めてもらおうと毎年開催。長靴姿の児童たちは、環境アドバイザーで農学博士の高橋伸拓さん(たかはし のぶひろ)からアドバイスを受けながら、虫取り網を使って水路の泥をすくい、カエルやドジョウ、希少種のアカハライモリなどを採集した。

採集後には、高橋さんと市動物調査研究会の松村雄会長(まつむら のしげ)が採集した生き物



の特徴などを説明した。参加した西小1年山田莉緒さん(6)は「初めてドジョウを見た。またいろいろな生き物を捕まえて観察してみたい」と笑顔で話した。